



# LDAP API メソッド

## Element Software

NetApp  
January 15, 2024

# 目次

LDAP API メソッド .....	1
詳細については、こちらをご覧ください .....	1
AddLdapClusterAdmin .....	1
EnableLdapAuthentication の略 .....	3
DisableLdapAuthentication の略 .....	7
GetLdapConfiguration を実行します .....	8
TestLdapAuthentication の略 .....	10

# LDAP API メソッド

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) を使用して、Element ストレージへのアクセスを認証できます。このセクションで説明する LDAP API メソッドを使用すると、ストレージクラスタへの LDAP アクセスを設定できます。

- [AddLdapClusterAdmin](#)
- [EnableLdapAuthentication](#) の略
- [DisableLdapAuthentication](#) の略
- [GetLdapConfiguration](#) を実行します
- [TestLdapAuthentication](#) の略

詳細については、[こちらをご覧ください](#)

- ["SolidFire および Element ソフトウェアのドキュメント"](#)
- ["以前のバージョンの NetApp SolidFire 製品および Element 製品に関するドキュメント"](#)

## AddLdapClusterAdmin

AddLdapClusterAdmin を使用すると、新しい LDAP クラスタ管理者ユーザを追加できます。LDAP クラスタ管理者は、API および管理ツールを使用してクラスタを管理できます。LDAP クラスタ管理者アカウントは、標準のテナントアカウントと完全に別のもので、関連性はありません。

### パラメータ

このメソッドを使用して、Active Directory® で定義されている LDAP グループを追加することもできます。グループに付与されたアクセスレベルが、LDAP グループの個々のユーザに継承されます。

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
にアクセスします	このクラスタ管理者が使用できるメソッドを制御します。	文字列の配列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
アクセトウーラ	エンドユーザライセンス契約に同意します。システムにクラスタ管理者アカウントを追加するには、true に設定します。省略するか false に設定すると、メソッド呼び出しは失敗します。	ブール値	なし	はい。
属性 (Attributes)	JSON オブジェクト形式の名前と値のペアのリスト。	JSON オブジェクト	なし	いいえ
ユーザ名	新しい LDAP クラスタ管理者のユーザ名。	文字列	なし	はい。

## 戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

## 要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "AddLdapClusterAdmin",
  "params": {"username": "cn=mike
jones,ou=ptusers,dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
  "access": ["administrator", "read"]
},
  "id": 1
}
```

## 応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

## 新規導入バージョン

9.6

詳細については、こちらをご覧ください

[Access Control の略](#)

## EnableLdapAuthentication の略

EnableLdapAuthentication メソッドを使用すると、クラスタへの LDAP 認証で使用する LDAP ディレクトリ接続を設定できます。LDAP ディレクトリのメンバーであるユーザは、LDAP クレデンシャルを使用してストレージシステムにログインできるようになります。

### パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
authType	使用するユーザ認証方式を指定します。有効な値は次のとおり <ul style="list-style-type: none"><li>「rectBind」と表示されます</li><li>「earchAndBind」</li></ul>	文字列	SearchAndBind の場合	いいえ
groupSearchBaseDN	グループサブツリー検索を開始するツリーのベース DN。	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
GroupSearchType	<p>使用されるデフォルトのグループ検索フィルタを制御します。有効な値は次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NoGroups : グループのサポートなし。</li> <li>• ActiveDirectory : あるユーザの Active Directory グループをすべてネストしたメンバーシップ。</li> <li>• MemberDN : MemberDN 形式のグループ (単一レベル)。</li> </ul>	文字列	ActiveDirectory	いいえ
serverURI	<p>LDAP または LDAPS サーバの URI をカンマで区切ったリスト。カスタムポートは、コロンとポート番号を組み合わせ、LDAP または LDAPS URI の末尾に追加できます。たとえば、「ldap://1.2.3.4」という URI はデフォルトのポートを使用し、「ldaps://1.2.3.4:123」という URI はカスタムポート 123 を使用します。</p>	文字列の配列	なし	はい。
userSearchBaseDN のことです	<p>サブツリー検索を開始するツリーのベース DN。このパラメータは、authType が SearchAndBind の場合に必要です。</p>	文字列	なし	いいえ

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
searchBindDN	ユーザの LDAP 検索を実行するためにログインで使用する完全修飾 DN。LDAP ディレクトリへの読み取りアクセスが必要です。このパラメータは、authType が SearchAndBind の場合に必要です。	文字列	なし	はい。
searchBindPassword	検索に使用する searchBindDN アカウントのパスワード。このパラメータは、authType が SearchAndBind の場合に必要です。	文字列	なし	はい。
userSearchFilter のように入力します	LDAP サーバの照会に使用する LDAP 検索フィルタ。文字列にはプレースホルダテキスト「%USERNAME%」が必要です。この値は、認証ユーザのユーザ名で置換されます。たとえば、( & ( objectClass=person ) ( sAMAccountName=%USERNAME% ) ) は、Active Directory の sAMAccountName フィールドを使用して、クラスタログイン時に入力されたユーザ名を照合します。このパラメータは、authType が SearchAndBind の場合に必要です。	文字列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
userDNTemplate	ユーザの完全な識別名（DN）を作成するパターンの定義に使用する文字列テンプレート。文字列にはプレースホルダテキスト「%USERNAME%」が必要です。この値は、認証ユーザのユーザ名で置換されます。このパラメータは、authType が DirectBind の場合に必要です。	文字列	なし	はい。
groupSearchCustomFilterのように指定します	CustomFilter 検索タイプを指定した場合に、ユーザのグループの DNS を返すための LDAP フィルタ。この文字列には、必要に応じてプレースホルダテキスト「%USERNAME%」および「%USERDN%」を含めることができます。これらの値は、ユーザ名および完全な userDN で置換されます。	文字列	なし	はい。

## 戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

## 要求例

このメソッドの要求例を次に示します。



```
{
  "method": "EnableLdapAuthentication",
  "params": {
    "authType": "SearchAndBind",
    "groupSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
    "groupSearchType": "ActiveDirectory",
    "searchBindDN": "SFReadOnly@prodtest.solidfire.net",
    "searchBindPassword": "zsw@#edcASD12",
    "sslCert": "",
    "userSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
    "userSearchFilter":
    "(&(objectClass=person)(sAMAccountName=%USERNAME%))",
    "serverURIs": [
      "ldaps://111.22.333.444",
      "ldap://555.66.777.888"
    ]
  },
  "id": 1
}
```

## 応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
  }
}
```

## 新規導入バージョン

9.6

## DisableLdapAuthentication の略

「DisableLdapAuthentication」メソッドを使用すると、LDAP 認証を無効にし、すべての LDAP 設定を削除できます。ユーザまたはグループに対する設定済みのクラスタ管理者アカウントは削除されません。LDAP 認証を無効にすると、LDAP 認証を使用するように設定されているクラスタ管理者はクラスタにアクセスできなくなります。

## パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

## 戻り値

このメソッドには戻り値はありません。

## 要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "DisableLdapAuthentication",
  "params": {},
  "id": 1
}
```

## 応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {}
}
```

## 新規導入バージョン

9.6

## GetLdapConfiguration を実行します

GetLdapConfiguration メソッドを使用すると、クラスタ上で現在アクティブな LDAP 構成を取得できます。

## パラメータ

このメソッドには入力パラメータはありません。

## 戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
IdapConfiguration (IdapConfiguration)	現在の LDAP 設定のリスト。この API 呼び出しは、検索アカウントパスワードのプレーンテキストを返しません。*注：* LDAP 認証が現在無効な場合、返される設定はすべて空です。ただし「authType」には「SearchAndBind」が、「groupSearchType」には「ActiveDirectory」が設定されます。	IdapConfiguration (IdapConfiguration)

## 要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "GetLdapConfiguration",
  "params": {},
  "id": 1
}
```

## 応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```

{
  "id": 1,
  "result": {
    "ldapConfiguration": {
      "authType": "SearchAndBind",
      "enabled": true,
      "groupSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
      "groupSearchCustomFilter": "",
      "groupSearchType": "ActiveDirectory",
      "searchBindDN": "SFReadOnly@prodtest.solidfire.net",
      "serverURIs": [
        "ldaps://111.22.333.444",
        "ldap://555.66.777.888"
      ],
      "userDNTemplate": "",
      "userSearchBaseDN": "dc=prodtest,dc=solidfire,dc=net",
      "userSearchFilter":
"(&(objectClass=person)(sAMAccountName=%USERNAME%))"
    }
  }
}

```

## 新規導入バージョン

9.6

## TestLdapAuthentication の略

「TestLdapAuthentication」メソッドを使用すると、現在有効な LDAP 認証設定を検証できます。設定が正しい場合、API 呼び出しはテストしたユーザのグループメンバーシップを返します。

### パラメータ

このメソッドの入力パラメータは次のとおりです。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
ユーザ名	テストするユーザ名。	文字列	なし	はい。
パスワード	テストするユーザ名のパスワード。	文字列	なし	はい。

名前	説明	を入力します	デフォルト値	必須
ldapConfiguration ( IdapConfiguration )	テストする IdapConfiguration オブジェクト。このパラメータを指定した場合、LDAP 認証が現在無効であっても、指定した設定がテストされます。	ldapConfiguration ( IdapConfiguration )	なし	いいえ

## 戻り値

このメソッドの戻り値は次のとおりです。

名前	説明	を入力します
グループ	テストしたユーザが属している LDAP グループのリスト。	配列
ユーザ DN	テストしたユーザの完全 LDAP 識別名。	文字列

## 要求例

このメソッドの要求例を次に示します。

```
{
  "method": "TestLdapAuthentication",
  "params": { "username": "admin1",
              "password": "admin1PASS"
            },
  "id": 1
}
```

## 応答例

このメソッドの応答例を次に示します。

```
{
  "id": 1,
  "result": {
    "groups": [
      "CN=StorageMgmt,OU=PTUsers,DC=prodtest,DC=solidfire,DC=net"
    ],
    "userDN": "CN=Admin1
Jones,OU=PTUsers,DC=prodtest,DC=solidfire,DC=net"
  }
}
```

## 新規導入バージョン

9.6

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。